一般講演

A01 感染症研究所昆虫医科学部所蔵の蚊類標本

栗原 毅・林 利彦・倉橋 弘 (感染研・昆虫医科学)

Mosquito specimens preserved in Reference Museum, Department of
Medical Entomology, National Institute of Infectious Diseases

KURIHARA T., HAYASHI T. and KURAHASHI H.

国立感染症研究所には多数の衛生上重要な昆虫標本が所蔵されている。近年蚊類についてはアジア各地の標本も増補し、分類学や疫学研究資料整備のため同定確認と必要なラベル添付、データベース化、印刷配布をおこなった。標本はレファレンスコレクションとして管理保存され、種名、採集地と年月日、採集者名等をDB化した。本整備により、前身の予防衛生研究所時代1950年頃の東京目黒や周辺地区にはチョウセンハマダラカ、アカツノフサカ、シロカタヤブカ、恐らく淡水で発生したトウゴウヤブカなどが分布していたこと、さらには那覇で1939年にネッタイシマカが採集されたことなど、往時を物語る興味深いデータも随意に検索可能となった。アジア各地各種植物の葉腋から採集された *Ae. poicilius* 標本も比較調査に供し得る。所蔵品には *Aedes galloisi*, *Aedes flavopictus* のレクトタイプ他も含まれる。タイプ標本の科学資産としての重要性を鑑み、より安全な保管措置を検討している。

A02 インドネシア、東チモールにおける蚊類の調査 (1999年)

○上村 清・高橋華子 (富山医薬大・医), 茂木幹義 (佐賀医大), Makmur Selomo (ハサヌデイン大・公衛)

Mosquito survey in East Timor, Indonesia, 1999

Kamimura K., Takahashi H., Mogi M. and Selomo M.

1999年7月28日から8月19日までインドネシア・チモール島東チモールのクーバン付近水田の調査のかたわら、その周辺 (平野・海岸) とソエからカーバン周辺 (標高1000-1400mの山地) で蚊発生源50水域を調査し、スライド標本作製した。

平野の水田には *Cx. tritaeniorhynchus*, *An. vagans* が多く、下水溝には *Cx. p. quinquefasciatus*, 人家水槽に *Ae. aegypti* が、海岸水溜に *Cx. sitiens*, *An. subpictus* が普通に発生していた。海岸カニ穴から *Uranotaenia* sp. と *Aedes* sp. が採集された。河床水溜には *Cx. triteniorhynchus*, *Cx. bitaeniorhynchus*, *An. vagans* などが発生していた。

山地の竹切株・樹洞からは、*Ae. albopictus*, *Ae. (Finlaya) sp.*, *Trypterooides sp.*, *Orthopodomyia sp.*, *Toxorhynchites sp.* などが採集された。地表水溜からは *Cx. vagans*, *Cx. tritaeniorhynchus*, *An. maculatus* などが採集された。これら結果について報告する。